

大分県立芸術文化短期大学

Epistula

大分県立芸術文化短期大学広報誌 エピストゥラ

EPISTULA: 古典ラテン語で“手紙”という意味です。

広報室からみなさまへ、芸文短大の“いま”を伝えるお手紙をお届けします。

Vol.80
2025.AUTUMN



表紙／音楽科

Epistula

OITA PREFECTURAL COLLEGE OF ARTS AND CULTURE
Public Relations Magazine

Vol.80
2025.AUTUMN

大分県立芸術文化短期大学広報誌「EPISTULA」2025年9月2日発行 通巻80号
大分県立芸術文化短期大学 〒870-0833 大分市上野丘東1番11号 TEL 097-545-0542 代表 FAX 097-545-0543

OITA PREFECTURAL COLLEGE OF ARTS AND CULTURE

Special

特集

●音楽科最大のイベント
第61回定期演奏会に向けて



OITA PREFECTURAL COLLEGE
OF ARTS AND CULTURE

イベント カレンダー
Event Calendar



9月 12日(金)

ベルカントへの誘い Tutti i CappuGGini
～行天祥晃芸短大就任 20 周年記念門下生コンサート～

14日(土)

大分郷土玩具・一文字絵付けワークショップ

19日(金)

コンサートシリーズNo.127 若さあふれるコンサート

10月

4日(土)～12日(土)

四版集

13日(月)・(祝)

第61回定期演奏会

25日(土)・26日(日)

芸短祭

26日(日)

芸短デザインスクール2025

11月

1日(土)・2日(日)

佐藤美枝子客員教授 声楽公開レッスン

2日(日)

フォトフレームづくり

6日(水)～13日(水)

まだまだ青春したいよ展

7日(金)

「大分二期会公演」オペラ

8日(土)

《ヘンゼルとグレーテル》ハイライト・ガラコンサート

8日(土)

藍染体験ワークショップ

8日(土)

国際社会から見た日本の食糧危機

～今、日本の農業が危ない～

12日(水)

コンサートシリーズNo.128

14日(金)

ピアノコース演奏会～ピアノ音楽への誘い～

16日(土)

大分国際車いすマラソン第16回交流イベント

16日(土)

ドレミの音楽会(仮)

26日(水)～12月2日(水)

くにさきBEACHチャレンジ

26日(水)

一色一絵展

12月

5日(金)

コンサートシリーズNo.129

14日(土)

管弦打コース演奏会～師走に心温まるひとときを～

25日(水)

ポップカルチャー×情報教育2025

28日(土)

おおいた第九の夕べ

オペラサークル Opera Piena di Vita

第36回公演 プッチーニ作曲 オペラ《ラ・ボエーム》&オペラシーンズ

※各イベントは変更になる場合があります

大学応援
基金の御礼

本学応援基金へのご寄附に対する感謝の意を込めて、お名前掲載を許可いただいた方のご芳名を掲載させていただきます。

近藤 正明様、岡本 洋子様
ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

情報を
いち早く
Get!



＼LINEはじめました！／



LINE



Instagram



X(旧Twitter)



YouTube



ソーシャル
メディア一覧



大分県立芸術文化短期大学の公式SNSでは、
本学が主催するイベント・展覧会等のお知らせを
はじめ、キャンパス内の様子や学生たちが行う
さまざまな活動について報告しています。また、
学科や研究室のほか、サークル、イベント等でも
SNSを立ち上げています。

芸文短大 検索 <https://www.oita-pjc.ac.jp>

3 リスト作曲 ピアノ協奏曲第1番 ピアノ独奏 専攻科2年：眞辺恋音さん

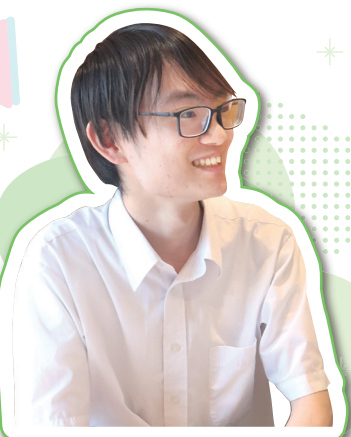


Q.どんな曲ですか

眞 リストの作曲技術と演奏の魅力が存分に感じられます。華やかさのあるピアノと壮大なオーケストラが対話をするように演奏する部分もあり、そして両方が一体となって力強く迫力のある音楽を奏でる部分もあり、曲の始まりから終わりまでとても聴きごたえのある曲だと思います。

Q.この曲の好きなところはどこですか

眞 全体的にダイナミックで重厚感のある曲なのですが、その中に優美な旋律が表れたり、軽快で可愛らしさのある部分が見えたり、物語性のようなものを感じます。すぐドラマティックな展開になっているところがこの曲最大の魅力で、好きなところでもあります！



4 ショスタコーヴィッチ作曲 交響曲5番 トランペット 専攻科2年：橋詰凜音さん

Q.どんな曲ですか

橋 没後50年となるショスタコーヴィッチの、厳しい政治的な圧力の中でも音楽の芸術性を残した偉大な曲です。緊張感とそこから解放されるコントラストが印象的です。4楽章それぞれにキャラクターがあり、オーソドックスな交響曲でもあるのでクライマックスまで楽しんでほしいです。

Q.この曲の好きなところはどこですか

橋 楽器の使い方がとても精妙でショスタコーヴィッチがどの楽器にどこを演奏させるかを細かく記しています。それを把握してショスタコーヴィッチの気持ちになって演奏することで一体感が生まれるところです。



5 定期演奏会に向けた意気込みをお願いします

馬 ソリストに選ばれてとても緊張しています。合唱、そして演奏会は皆で作りに上げていくものなので、学生全員で一体となって一生懸命練習に励みたいですね。

眞 ピアノをたくさん勉強してきた4年間の集大成としても、今まで頑張ってきたことを全て出し切りたいです。本番ではこの曲の良さと、何よりピアノを弾く楽しさをたくさん伝えることが出来ればと思います。

瀬 iichikoグランシアタという大舞台で自分の音を聞いてもらえる貴重な機会なので頑張ります。皆さまのお越しをお待ちしております。

第61回定期演奏会 情報



日時 10月13日(月・祝)
時間 13:15 開場 / 14:00 開演
会場 iichiko 総合文化センター
iichiko グランシアタ
(大分市高砂町 2-33)
料金 一般 1000円 / 学生 500円
お問い合わせ
音楽科副手室
☎097-545-8758

geitan_ongaku

国際総合学科「地域文化創造論」の授業の一環で定期演奏会のプロモーション活動を行いました



学生が企画・制作した動画は音楽科 SNS で見られます。▶▶▶



音楽科最大のイベント 第61回定期演奏会に向けて

演奏者
5名に質問
しました！

今年も音楽科最大のイベント「第61回定期演奏会」を10月13日(月・祝)に iichiko総合文化センターグランシアタにて開催します。演奏はもちろん、当日のスタッフなど音楽科在学生・卒業生・教職員が一丸となって作り上げていく演奏会です。

定期演奏会をけん引する学生に、演奏する曲の魅力や意気込みを伺いました。

1 ヴェルディ作曲「レクイエム」

独唱 専攻科1年：前田光稀さん
専攻科2年：馬場結菜さん

Q.どんな曲ですか

馬 ヴェルディと親交の深かった作家・マンゾーニの追悼のために作曲され、マンゾーニの一周忌で披露された曲です。悲観的というよりは、ヴェルディの大切にしてきた亡き人たちに、神への祈りが届かないことに対する“怒り”を表しているように感じます。

Q.この曲の好きなところはどこですか

前 ヴェルディはオペラでも有名な作曲家のため、声楽でも歌いやすさがあります。オーケストラの演奏も旋律的な美しさがあるところが好きです。また、オーケストラとテノールのソロの部分があり、壮大な音楽の中テノールのソロから4重唱が加わり、合唱へと続く優美なメロディーは、ミサ曲ならではの盛り上がりがあります。



2 サン＝サーンス作曲 交響詩「死の舞踏」 コンサートマスター 専攻科2年：瀬嶋奏平さん

Q.どんな曲ですか

瀬 コンサートマスターが演奏するヴァイオリンのソロは、まるで死神が弾いているイメージのような曲です。午前0時の時計と共に墓場に死神が現れ、ヴァイオリンを優雅に奏で、そして軽快に踊り明かす楽しいメロディーですが、どこか不気味さを感じさせます。次第に激しさを増し、夜明けを迎え雄鶏が鳴くと、静寂を取り戻す。一夜のストーリーを感じてください。

Q.この曲を演奏するポイントはどこですか

瀬 死神の雰囲気を出すために、普段とは違う手法で弾く部分があります。開放弦で弾くことで音の響きが強く、不気味さが増します。また、調弦を半音下げて不協和音となるのも特徴です。



TOPICS
03

マナー・プロトコール検定で 本学が優秀校に選ばれました



NPO法人日本マナー・プロトコール協会が主催する「マナー・プロトコール検定試験」において、本学が令和6年度の「優秀校」に選ばれました。今年で3度目となり、昨年度に続いて2年連続の優秀校選出となります。

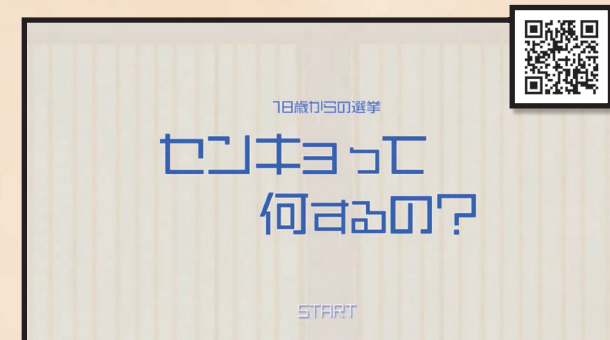
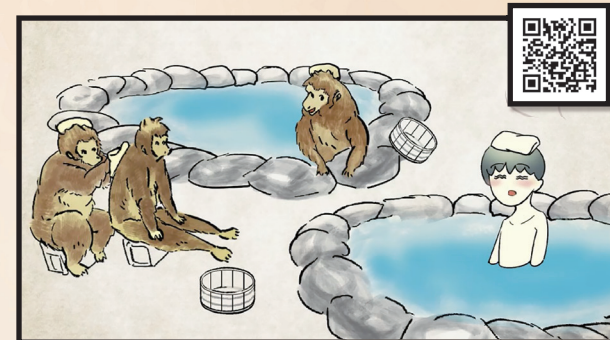
この検定は、マナー＆プロトコール（国際儀礼）に関わる知識や対応力を認定する文部科学省後援の資格検定です。マナー・プロトコール検定については、「秘書実務1」で学びます。国際総合学科、情報コミュニケーション学科の多くの学生が受験しています。

卒業後の進路でも、この資格が大いに生かされると思います。



TOPICS
01

第27回参議院議員 通常選挙啓発動画を作成しました



美術科デザイン専攻メディアデザインコースの映像ゼミの学生が、大分県選挙管理委員会と電通九州とのコラボで第27回参議院議員通常選挙啓発動画を作成しました。

若い世代でも選挙を身近に感じてもらえるような動画となりました。QRコードより動画を視聴できますので、ぜひご覧ください。



TOPICS
02

大分県議会本会議場で コンサートを開催しました



6月27日（金）大分県議会第2回定例会閉会後、本会議場において「大分県議会議場コンサート」を開催しました。

約30年ぶりにリニューアルされた県議会議場の運用開始を記念して、佐藤樹一郎県知事をはじめ、多くの県議会議員が見守る中、本学の専攻科音楽専攻科生が議場にてコンサートを行いました。

大分県議会嶋幸一議長より「議場が華やきました。とても素晴らしい演奏をありがとうございました」とのお言葉をいただき、議員の皆さまからの盛大な拍手のなか終演しました。



TOPICS
05

附属図書館で「選書ツアー」の 意見交換会を行いました

7月2日（水）、附属図書館にて、6月21日（土）開催の「選書ツアー」に参加した学生7名と教職員4名による意見交換会を行いました。

学生は表紙や装丁に惹かれた本、みんなにオススメしたい本、趣味や関心から選んだ本など、個性に富んだ理由と共に自身の選書した本について発表しました。今回のツアーが学生の知見をより広げる好機となったようです。

参加した学生からは「自分の選んだ本が学生の興味を惹きつけかけになってほしい」等の感想が寄せられました。



TOPICS
04

国際ボランティア論にて 特別講義を行いました

5月16日（金）国際ボランティア論にて、アフリカで「ネリカ米」を普及させ、同地の食糧危機を救った坪井さんは、米国Newsweek誌から「世界が尊敬する100人」にも選出された国際協力のプロフェッショナルです。

講義では、坪井さんの生い立ちやJICAでの活動、ネリカ米についてなどをお話いただきました。



竹田キャンパス Taketa Campus

竹田キャンパスは、ゼミやサークルでの合宿、創作活動の拠点として
竹田市に2010年4月にオープンした、芸文短大と地域との交流の場です

先日学生が陶芸の野焼きを行い、とても味のある素敵な焼き物が仕上がりました。せっかく火をおこしていたので、私はその傍らで飯盒炊爨をして遊んでおりました。結果は結構焦がしてしまい失敗しましたが、しっかり炊き上がった部分はカレーにして美味しくいただきました。火を眺めながら炊くご飯は趣があり心が和みます。次の機会にはもっとうまくできるようにしよう（^^）



学内ギャラリー作品介绍

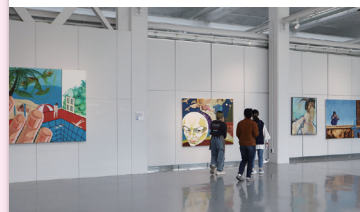
「いろはにほへと ちりぬるを」

5月20日～5月25日
美術科2年
2名



「『私』と『思想』のSYNAPSE」

5月26日～6月1日
専攻科造形専攻
美術コース2年
藤川雄樹



「勿忘」

6月11日～6月15日
美術科
美術専攻2年
2名



「Short short」

6月17日～6月21日
美術科美術専攻2年
2名



「沈むひとたち」

6月24日～6月29日
美術科デザイン専攻2年
茅野修吾



「ところ展」

7月1日～7月6日
美術科
美術専攻2年
井上翔太



「おだやかなまち」

7月8日～7月12日
美術科デザイン
専攻2年生
5名



President's column

学長 コラム 生きる 喜び



似顔絵：学長秘書 高野桐子

世界のインプレサリオ（興行師） 佐々木忠次さんの思い出

2016年に世界のインプレサリオの佐々木忠次さんが亡くなってもうすぐ10年になる。佐々木さんには芸術について色々なことを教わったが、中でも忘れられない思い出は2004年の話である。

この年の秋、東京でアジア各国の財務省と中央銀行の幹部の会合が開催された。佐々木さんに「将来のバレエの市場は人口や経済成長からいってもアジアなのでぜひ、幹部を招待してほしい」とお願いしたところ了解してくれた。中国、韓国、など12か国の幹部24人を招待してもらい、世界一のロシアのバレエダンサーのマラーホフが主役の白鳥の湖を観劇させてもらった。終了後に皆は目黒の東京バレエ団本部3階の絢爛豪華なレセプションルームに移動し、マラーホフ達と一緒に夕食会を開催した。このバレエ観劇と夕食会は出席者全員の生涯の思い出になった。参加者の何人かはその後各国の中央銀行や金融庁の重要な地位にいたが、私が彼らに顔を合わせると先方から走り寄ってきて、「あの夜のことは一生忘れられない」と言ってくれる。

サービスマーケティング情報

学んだことを地域で活かす、地域で活動することで学びの意味を考える

大分トリニータの集客活動で フェイスシール販売を実施しました

5月18日（日）、サービスマーケティングの活動として、クラブサード・ム大分で開催されたサッカーJリーグの大分トリニータ対V・ファアレン長崎の試合でフェイスシールの販売を行いました。活動には30名の学生が参加し、西口と東口に分かれて販売から貼り付けまでを行いました。この日は1万人を超える来場者があり、多くのサポーターに購入



していただくことができました。4月の後半からシールの作成、カット、看板などの作成に加え、トリニータの選手にご協力いただき広報用の動画を作成し、準備を進めてきました。学生からは、「広い年齢層の方々にシールを貼って応援していただき楽しかった」「シールを貼るときに好きな選手についての話で盛り上がった」「小さな子供にシールを貼ると笑顔になり、こちらまでうれしくなった」「次回は購入者の方を待たせずにシールを貼っていききたい」などの感想が寄せられました。

外国人留学生の 支援活動を行いました

6月21日（土）にJ・COMホルトホールにおいて、大分県社会福祉協議会、大学コンソーシアムおおいた、フードバンクおおいたが主催する「フードマルシェ」が開催され、サービスマーケティングの一環として23名の学生が参加しました。

フードバンクにおいては、賞味期限の近い食材などを県内各地から集め、これらを生活に困窮する人々に提供する活動を行っています。今回は大分県内の大学、短期大学、専門学校、日本語学校に通う留学生を対象に食材を提供し、且つ留学生との交流を図ることを目的として参加しました。

参加した学生達は相談し合いながら役割分担を決め、食材の運搬、製品の陳列、会場設営などを行い、午後12時から15時までの間に過去最多となる265名の留学生に、お米、レトルト食品、缶詰、飲み物、インスタント食品、調味料、雑貨などを提供しました。それぞれのブースや、留学生の誘導では、学生たちが積極的に話しかけ交流を行いました。また今回は児童養護施設を卒業する子ども達を支援するための試みとして、大分県社会福祉協議会において食材・雑貨提供の荷づくりも支援しました。



参加した学生からは「これまであまり留学生と話す機会がなかったけれども、交流ができてとても良かった」「会話を通じて自分の語学力のレベルを理解できたのもっと勉強をしていきたい」「留学生の皆さんが喜んでくれたのがとても嬉しかった」「交流を通じてとても外国人との距離感が近くなったように思えた」などの感想が寄せられました。今回の活動を通じて留学生の生活支援を行うとともに、交流を深める良い機会となりました。

「日々是精進」

専攻科
音楽専攻

●全日本
管楽コンクール
2025全国大会
大学生・院生部門
奨励賞
西田 花乃
(1年 クラリネット)



▲写真は卒業パーティーの様子です

こんにちは！学友会です！10月25日（土）・26日（日）に芸短祭を行います！お笑い芸人さんや大分で活躍しているタレントさんをお呼びしてのステージ発表をはじめ、サークル等のステージ発表、屋台や雑貨などの出店など楽しんでもらえる企画を準備しております！

学友会一同、皆様のご参加をお待ちしております！またInstagramで情報発信しているのでそちらのフォローもよろしくお願いします！！

Instagram
@geitandayooo

